



射水市立大門小学校 学校だより



三輪の結

大門っ子

第21号

令和6年3月22日

卒業おめでとうございます！



寒かった冬もいつの間にか過ぎ、体育館には、柔らかな春の陽が差し込んでいます。3月18日(月)、射水市教育センター 成田廣昭様、本校PTA会長 本田優司様はじめたくさんの来賓の方々にご臨席いただき、保護者の皆様に見守られる



中、令和5年度卒業証書授与式を挙行了しました。「卒業証書授与」では、子供たちの目を見てお祝いの言葉をかけながら、卒業証書を手渡しました。卒業証書を手にした子供たちはとても堂々としていました。また、その表情からは、充実した小学校生活を終える満足感と新しい世界へ飛び出そうとする期待感がにじみ出ていました。

式辞では、

令和6年1月1日、能登半島地震が起きました。ここ大門でも大きな揺れを感じたほどなので、能登の人たちはどんなにか怖い思いをしたことでしょう。そして、多くの人々が命を失い、家をなくし厳しい避難生活を送ることとなりました。しかし、不自由な生活の中でも、お互いに力を合わせ懸命に生きています。先日の新聞記事に卒業した中学生の記事が載っていました。「地震で平穏な日常は崩れ去りました。避難先のみなどと協力していく中で、この震災を乗り越えていこうという気持ちが湧いてきました。どれだけの時間がかかるか分かりませんが、私たちは必ず、この地震から立ち直ってみせます。」という力強い言葉でした。きっと必ずや立ち直り、明るい未来に向かって歩み出されることを信じています。

皆さんも、大門小学校でのいろいろな学びの中で、力強く生きるため、自分で考え判断し、進んで行動する力の基礎を身に付けてきました。これからはその力をさらに伸ばし、どのような局面に出会っても、自分の進むべき道を自ら切り開き、力強く前進して行ってください。そして、今日、こうして卒業式を迎えることができるのは、当たり前ではないということ、そして感謝の気持ちを忘れずに一日一日を大切に生き、楽しく豊かな人生を送ってください。

と卒業生にエールを送りました。

祝辞の後、「旅立ちの詩 卒業生・在校生の言葉」となりました。子供たち一人一人が感謝の思いを込めて、呼びかけました。そして、卒業歌「絆」の合唱となりました。「君と僕の大切な絆 いつまでも切れないように〜」の歌詞を聴いたとき、胸がジーンと熱くなりました。いよいよ本当に6年生107名が、大門小学校を巣立っていくのだと実感が湧きました。

卒業生が立派に退場していく姿に、一抹の寂しさを感じつつ、未来への飛躍を願わずにいられない気持ちになりました。凜とした素晴らしい卒業証書授与式でした。



PTAより記念品の贈呈式



3月15日（火）、卒業式予行の後、PTA記念品贈呈式及び、卒業記念品贈呈式を行いました。6年の子供たちが体育館で式に臨み、4、5年生は会場で見守り、1～3年生は、教室でリモートによる配信を視聴しました。

PTA記念品贈呈式では、本田会長から卒業生代表に卒業証書入れ用ファイルが贈られました。とても素敵な物でした。また、本田会長から、卒業生にお祝いの言葉もいただきました。

卒業記念品贈呈式では、卒業生から学校に、証書入れお盆と花台をいただきました。来年度の行事等で使用させていただきます。



一年間、ありがとうございました！

3月22日（金）より、学年末休業となります。この一年間で子供たちは、確実に成長を遂げました。ぜひ、お子様の成長したところを具体的に見付け、たくさん褒めてあげてください。自尊感情を高めることが子供の成長にとって一番大切なことです。新しい学年に向かう大きなパワーとなります。

最後になりましたが、保護者の皆様には、この一年間、学校運営に対して多大なご理解ご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。

（校長 阿尾昌樹）